

令和4年第3回定例会一般質問通告事項

	岡田広美議員（木曜日）	質問方式：一括質問方式
6 月	<p>1 尾道市の防災担当の女性の割合についてお伺いします</p> <p>(1) 私も尾道市の防災士の一人ですが、尾道市の防災担当職員の女性の割合、及び防災ネットワーク及び自主防災組織の女性の割合は、どのくらいになりますか</p> <p>(2) これからも女性の防災担当職員や防災ネットワークの女性を増やすための働きかけをどのようにしていく予定ですか</p> <p>(3) 他の災害時の対応について、女性目線で参考にして尾道市も取り入れたことはどのようなことですか。また、女性の目線があって良かったと思えるのは具体的にどのようなことですか</p> <p>(4) 災害時の女性を守るべき、自警組織についての対応はどのようにお考えでしょうか。そのことについての勉強会等、企画はされていますか。また、する予定はありますか</p> <p>(5) 災害時の対応について、広く市民に情報を発信するための防災ラジオの普及率は、今、どのようになっていますか。防災アプリの利用状況はいかがでしょう。尾道市のラインも現在何人くらい利用されていますか</p> <p>(6) 尾道市の自主防災組織、防災ネットワーク、消防団など様々な団体が、いざ、災害となれば、連携して動きますが、実際、横のつながりなどの連携は、具体的にどのようになっていますか。いざという時、どのような連携がとれますか。お答えください</p>	
17 日	<p>2 子ども時代を子どもらしく過ごせる保育の実現に向けて</p> <p>(1) 尾道市の保育園、幼稚園において保育者に対して、預かる子どもの人数が多い為に見きれずに起きた事故や問題があったことはありませんか。その対応は、どのようにされていますか</p> <p>(2) 現状の職員配置基準では、保育者に負担を強いていると思うような点はありませんか。尾道市独自に配置を工夫されていることはありますか</p> <p>(3) 4月には、待機児童は、いないが、それ以降に待機児童が発生しているということは、基本的に、余裕がないということではないですか。年度の途中で保育者が病気や妊娠、出産、介護等の理由で仕事ができなくなった場合、どのような対応をされていますか</p>	

<p>6 月 17 日</p>	<p>(4) 尾道市においても、不登校、ひきこもりや心の病人も多くおられると思います。一人一人の子どもの個性や素質を認め、だれもが、自分らしく生きられるような社会を目指して「子ども時代を子どもらしく過ごせるように」と願っておりますが、この点をどのようにお考えでしょうか</p> <p>3 ヤングケアラーについて</p> <p>(1) 尾道市の児童・生徒に対してアンケートなど取って、現状把握をされましたか</p> <p>(2) ヤングケアラーについては、早期発見、認知度の向上、ケアラー支援が必要ですが、尾道市は、具体的にどのようにされていますか</p> <p>(3) 遅刻、欠席、忘れ物、学力が振るわない、衛生面や、栄養面が思わしくない等、様々な困りごと、困難を抱えた子どもたちの「SOS」を「問題行動」という形で訴えている子への対応は、どのようにされていますか</p> <p>(4) 家庭の問題ではありますが、口に出して相談しにくい子どもへの支援という観点から、周囲の大人が、ヤングケアラーに対する意識を高め、スクールソーシャルワーカーや行政の福祉や学習サポートにつなげる環境を考えていますか</p> <p>(5) 長期的に支援が必要となってくるとと思いますが、小学校から中学校へ、中学校から高校へまた、尾道市から他の市町への転出や他の市町から尾道市への転入でも支援が続けられるような情報のキャッチボールは、考えていますか</p>
-----------------------------	---